

2021年度

事業報告

自：2021年4月 1日

至：2022年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

2021年度事業報告

I 公益目的事業1（研究助成事業）

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な資金を助成するとともに、次年度の助成対象者を募集し、選考した。

1 2021年度研究開発助成金の交付

2020年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成対象者に対して、研究開発に必要な資金を助成した。

- (1) 名 称 2021年度研究開発助成金
 (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、材料、機械、電気電子の各技術分野に属するもの
 (3) 助成テーマ 14テーマ（一覧表は下記のとおり：応募42テーマ）
 (4) 助成金総額 1,400万円
 (5) 研究期間 2021年4月から2022年3月までの1年間（原則）
 (6) 研究成果 「研究助成成果報告書」のとおり

2021年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所 属	役職等	氏 名	
1	「蓄積電荷測定法」による有機・金属界面の電荷注入抵抗測定とトランジスタへの応用	兵庫県立大学大学院理学研究科	助教 博士(工学)	角屋 智史	100
2	ホウ素 Lewis 酸—Brønsted 酸複合触媒を用いた環境調和型高分子材料の開発	広島大学大学院先進理工系科学研究科	准教授 博士(工学)	田中 亮	100
3	細胞内の絶対温度計測を可能にする無個性型ダイヤモンド温度計の開発	大阪大学蛋白質研究所	助教 博士(工学)	外間 進悟	100
4	集積デバイス応用に向けた VO ₂ ナノワイヤの一次元配向成長と一斉転写技術の開発	関西大学システム理工学部物理・応用物理学科	准教授 Ph.D.(Physics)	山本 真人	100
5	強力な生物活性を有する含フッ素有機化合物の合成を指向したラジカル反応の開発	山口大学大学院創成科学研究科工学系学域応用化学分野	助教 博士(理学)	川本 拓治	100
6	物質内電磁場増強効果による高活性ヘマタイト光触媒の開発	新居浜工業高等専門学校環境材料工学科	助教 博士(理学)	坂本 全教	100

7	応力下の低温トポケミカル反応による新規強磁性ユウロピウム化合物の開発と革新的機能性の開拓	京都大学大学院工学研究科附属工学基盤教育研究センター	講師 博士(理学)	高津 浩	100
8	多種金属置換基を有する芳香族化合物合成法の確立とそのカップリング反応の開拓	京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻	博士研究員 博士(工学)	芦刈 洋祐	100
9	ダブルペロブスカイト鉄酸化物における相転移の機構解明と制御	京都大学化学研究所	助教 博士(理学)	後藤 真人	100
10	機能開拓を目指したらせん状 π スタック高分子の精密合成	大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻	助教 博士(理学)	神林 直哉	100
11	繊維状磁性体を用いることでマグネトロロジー効果を強化した繊維強化磁気粘性流体の開発	立命館大学理工学部 機械工学科	助教 博士(工学)	立山 耕平	100
12	ヘテロ[8]サーキュレン類の汎用的合成法の開発	岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻	助教 博士(理学)	前田 千尋	100
13	スマートウォッチ活用によるトンネル火災避難時の人間行動最適化	広島大学大学院先進理工系科学研究科	助教 博士(工学)	清家 美帆	100
14	高抵抗電極材料を用いた高精度ナノ放電加工の研究	金沢大学理工研究域 機械工学系	准教授 博士(工学)	小谷野智広	100

2 2022年度研究開発助成対象者の募集及び選考

2022年度助成対象者を募集し、研究助成選考委員会で選考の上、2021年度第2回定時理事会において決定した。

- (1) 助成対象者 近畿地方及びその周辺地域（北陸3県（富山県、石川県及び福井県）、中国地方及び四国地方）の理工学系の大学等に在籍する40歳未満の研究者
- (2) 研究開発分野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、材料、機械、電気電子の各技術分野に属するもの
- (3) 募集期間 2021年10月20日から2021年12月20日まで
- (4) 応募者数 53人
- (5) 助成対象者数 15人
- (6) 助成金総額 1,500万円
- (7) 研究助成選考委員会の開催状況

開催年月日	議題
2022年2月19日	1 2022年度研究開発助成候補者の選考について 2 その他

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興を担う人材を育成する事業を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、事業の特性に応じた感染防止対策を講じた。

1 技術セミナー

(1) ものづくり先端技術セミナー

ものづくり技術開発の高度化を促進することを目的に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況を紹介するセミナーを開催した。

ア 名称 2021年度ものづくり先端技術セミナー
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 方法 オンライン及び会場（京都府産業支援センター5階研修室）
エ 受講料 無料
オ 内容

	開催日・テーマ等	
第1回	日時 2022年1月31日（月） 14:00～15:30 テーマ 「2050年カーボンニュートラルに向けて 『カーボンリサイクル技術の現状と今後の期待』」 講師 一般社団法人エネルギー総合工学研究所プロジェクト試験研究部 部長 橋崎 克雄 氏 参加者 28人	
第2回	日時 2022年3月4日（金） 14:00～15:30 テーマ 「バイオプラスチック材料への期待と将来展望 ～カーボンニュートラルの実現に向けて～」 講師 龍谷大学先端理工学部教授 中沖 隆彦 氏 参加者 31人	

(2) 電磁波技術セミナー

マイクロ波・ミリ波、5G通信技術などに関連した技術分野の製品開発を行っている企業の技術者を対象に、電磁波関連の基礎的な技術解説や試作・開発・評価等に関する話題提供を行うセミナーを開催した。

ア 名称 2021年度電磁波技術セミナー
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 方法 オンライン及び会場（京都府産業支援センター5階研修室）
エ 受講料 無料
オ 内容

	開催日・テーマ等	
第1回	日時 2021年6月3日（木） 13:00～17:00 【第1部】 テーマ 「製品安全 基礎」 講師 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター試験事業部EMC・安全技術グループ 安全試験チーム チームリーダー 中山 太介 氏 【第2部】 テーマ 「EMC入門編」 講師 一般社団法人KEC関西電子工業振興センター試験事業部EMC・安全技術グループEMC第1チーム 技師 疋田 修一 氏 参加者 30人	

第2回	日時 テーマ 講師 参加者	2021年7月29日(木) 13:00~15:00 「電磁メタマテリアルの基礎と応用」 京都工芸繊維大学電気電子工学系教授 上田 哲也 氏 28人
第3回	日時 テーマ 講師 参加者	2021年9月15日(水) 13:30~17:00 「電気回路の基礎」 奈良工業高等専門学校電気工学科准教授 芦原 佑樹 氏 40人
第4回	日時 テーマ 講師 参加者	2021年12月13日(月) 13:00~16:30 「人工材料を用いる電波吸収体・遮蔽材・透過材および反射係数、透過係数測定技術」 兵庫県立大学大学院工学研究科電子情報工学専攻准教授 山本 真一郎 氏 34人
第5回	日時 テーマ 講師 参加者	2022年1月19日(水) 13:30~16:00 「プリコンプライアンス段階のノイズ対策手法」 星和電機株式会社コンポーネントシステム事業部技術開発部 課長補佐 佐野 一弥 氏 40人
第6回	日時 テーマ 講師 参加者	2022年2月28日(月) 13:30~15:30 ミリ波技術を用いた開発事例と電磁波技術にかかる支援のご紹介 ① 「ミリ波レーダを用いたバイタルセンシング技術の紹介」 ② 「当センターにおける電磁波技術にかかる支援の紹介」 講師 ① 株式会社マリ研究開発本部長 奥村 成皓 氏 ② 京都府中小企業技術センター応用技術課電気通信係職員 参加者 24人

2 技術研究会

(1) 機械設計・計測技術研究会

設計技術者等を対象に、機械設計・製図に必要な基礎知識から機械部品等の形状評価を行う計測技術までを学ぶ研究会を開催した。

ア 名称 2021年度機械設計・計測技術研究会
イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
ウ 方法 オンライン及び会場(京都府中小企業技術センター5階研修室)
エ 参加者 関連企業の技術者(2人)
オ 会費 年額10,000円/人
カ 内容

例会	日時	内容
第1回	1月25日(火)	内容:「設計に役立つ、加工と測定の知識」 講師:QVIジャパン株式会社 研究開発部長 林 正弘 氏
第2回	2月1日(火)	内容:「寸法公差の基本と使い方(前編)」 講師:株式会社ラブノーツ シニアコンサルタント 竹之内 徹 氏
第3回	2月8日(火)	内容:「寸法公差の基本と使い方(後編)」 講師:株式会社ラブノーツ シニアコンサルタント 竹之内 徹 氏

第4回	2月22日(火)	内容：「設計者の意思を伝える、「幾何公差」の利用法(前編)」 講師：QVIジャパン株式会社 研究開発部長 林 正弘 氏
第5回	3月1日(火)	内容：「設計者の意思を伝える、「幾何公差」の利用法(後編)」 講師：QVIジャパン株式会社 研究開発部長 林 正弘 氏

※開催時間は、いずれも13:00~17:00

(2) ものづくり分析評価技術研究会

分光分析に関する系統的かつ高度な知識とノウハウを兼ね備えたものづくり技術者の育成を支援する研究会を開催した。

2021年度は、製品開発や品質管理の場面で不可欠な分析手段となりつつある『ラマン分光法』をテーマに開催した。

- ア 名称 2021年度ものづくり分析評価技術研究会
- イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- ウ 方法 オンライン方式
- エ 参加者 関連企業・大学の技術者・研究者(19社・3大学40人)
- オ 会費 年額5,000円/人
- カ 内容

例会	日時	内容
第1回	10月12日(火)	内容：「ラマン分光法入門」・「ラマン分光法の原理」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏 内容：「ラマン分光装置の仕組み」 講師：株式会社右近工舎代表取締役 右近 寿一郎 氏
第2回	11月11日(木)	内容：「ラマン分光測定における注意点と対処法」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏 内容：「ラマン分光法の応用① ラマン分光を用いた材料解析」 講師：株式会社東レリサーチセンター技術開発企画部部长 村木 直樹 氏 内容：「ラマン分光装置の仕組みに関する質疑応答」 講師：株式会社右近工舎代表取締役 右近 寿一郎 氏
第3回	12月9日(木)	内容：「ラマンスペクトルの解析法」 講師：関西学院大学名誉教授・フェロー 尾崎 幸洋 氏 内容：「ラマン分光法の応用② バイオメディカルへの応用」 講師：関西学院大学生命環境学部生命医科学科教授 佐藤 英俊 氏

※開催時間は、いずれも13:00~17:00

(3) 品質工学研究会

「品質工学の本質を探る」と題したシンポジウムを開催した。

- ア 名称 品質工学シンポジウム2021
- イ 主催 関西品質工学研究会
- ウ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
中部、滋賀県、広島各品質工学研究会
- エ 日時 2021年10月8日(金) 13:00~17:00
- オ 方法 オンライン方式
- カ テーマ 「品質工学の本質を探る」
- キ 内容 基調講演、招待講演、研究発表、講評

項目	内容
基調講演	「品質工学の学理と実践」 品質工学会会長 椿 広計 氏
招待講演	「燃焼～溶融の CAE による機能性評価と感度調整による試作レス開発プロセスの確立」 株式会社ニコン 小西 洋平 氏
発表	「パワーMOSFET 開発におけるデバイス設計段階からの品質工学的アプローチの適用」 ローム株式会社 山中 貴光 氏 「ハイブリッド給湯機用凝縮熱交換器の機能性評価方法」 株式会社ノーリツ 吉田 晶 氏 「基本機能による創造的開発の可能性」 株式会社シマノ 井上 徹夫 氏
講評	関西品質工学研究会顧問 原 和彦 氏

ク 参加人員 178名（研究会関係者83名、一般参加者93名ほか）

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、科学技術やものづくりへの関心を高める取組の一環として、高校生や大学生等を対象に、技術に関する独創的なアイデアを募集し、書類審査の通過者を対象にコンテスト(最終審査)を行い、優れたアイデアを表彰した。

(1) 主催等

- ア 名称 テクノ愛2021
- イ 主催 テクノ愛実行委員会
- ウ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部
- エ 後援 文部科学省、近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会、NHK京都放送局、国立研究開発法人科学技術振興機構、一般社団法人日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
- オ 協賛 大阪大学共創機構、神戸大学産官学連携本部、京都工芸繊維大学産学公連携推進センター、大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム

(2) 募集等

- ア 募集対象 高校の部：高校生、高等専門学校1～3年生
大学の部：大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生、専攻科生等
- イ 募集期間 2021年8月2日～2021年9月10日
- ウ 応募状況 高校の部 33校、181件（学校所在地：青森県～沖縄県の17府県）
大学の部 15校、61件（学校所在地：北海道～福岡県の13都道府県）

(3) 書類審査

- ア 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部それぞれ9テーマを選考した。
- イ 上記以外のテーマのうち、書類審査で健闘したと認められた高校の部17テーマ、大学の部9テーマに対し、コンテスト当日の審査で健闘賞を授与することを決定した。

(4) コンテスト (最終審査)

書類審査で選考された18テーマについて、Zoom ミーティングを用いたオンライン方式でコンテストを行った。

ア 開催日時 2021年11月23日(火・祝日) 9:15~17:20

イ 開催方法 発表者から提出された「スライドが自動的に切り替わるナレーション付き PowerPoint 資料」を事務局が画面共有する形で発表(プレゼンテーション)した後、質疑応答を行った。

ウ 審査結果 ユニーク度(新規性、独創性等)、成熟度、実用性、アピール度の各観点から審査され、次のとおり入賞者を決定した。

高校の部: グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件

大学の部: グランプリ1件、準グランプリ1件、優秀賞1件、奨励賞6件

総合の部: テクノ愛賞1件

※ 入賞者は、下記一覧表のとおり

テクノ愛2021入賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	簡易に演奏可能なウインドシンセサイザーの開発	奈良女子大学附属中等教育学校	黒川 陸
準グランプリ	スマホとAR技術を用いて磁力線を可視化するアプリの開発	山口県立徳山高等学校	平良 隼涼
優秀賞	新しい骨伝導イヤフォンの提案	茨城県立水戸第二高等学校	北郷友見子 大久保真歩 米川明日菜
奨励賞	超音波野菜	青森県立名久井農業高等学校	大坊 拓也 掛端 博貴 佐々木昌虎 中居 泉穂 寺沢 ゆき 新田 遥加
	固形墨の原理を活用した炭素材料分散キセロゲルの作成	奈良県立西和清陵高等学校	高田 真斗 伊藤 瑠衣 鶴澤 愛里 吉岡 歩環
	体温の熱エネルギーを利用して発電するスツール型熱電発電機	長崎県立長崎西高等学校	北田 一真
	階段用台車でスムーズに荷物を昇降する	愛知県立愛知総合工科高等学校	山内 希龍 山田 快平 六鹿 任哉 木村 一功 山本 雷矢
	マイクロプラスチックの赤外線による素材の判定	大阪桐蔭高等学校	砥石 梨央 岡崎 可奈 莫 嘉遥
	聴覚・言語障がい者向け次世代コミュニケーションメガネ	沖縄工業高等専門学校	鷲澤 稜河

備考 奨励賞は、発表順

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
グランプリ	飲食店排水溝用の臭気抑制システム	九州工業大学大学院	山手 健矢
準グランプリ	多孔質材料を用いた気流音の低減	富山県立大学 富山県立大学大学院 金沢大学大学院	重 昂輝 西川 礼恩 奥野 未侑
優秀賞	顔認証を用いた一人歩き高齢者の自動搜索システム「探助（さがすけ）」	京都大学 大阪大学 大阪市立大学大学院 同志社大学 立命館大学 関西学院大学 青山学院大学	四反田直樹 森山 和 相良 壮馬 松本 深結 石本 樹生 羅 佩瑤 王 語非 大倉誠之輔 永井 光洋 松田 晏青 岩藤はるか 岸 桃花
奨励賞	特性可変材料を用いた振動低減装置	富山県立大学 富山県立大学大学院	清瀧 亮 内藤 匠海 李 喆 小野 皓平
	ウェアラブル締め付けアクチュエータ“Servoband”	京都大学	四反田直樹
	言葉を真似る鳥の訓練装置	香川高等専門学校	島崎 祐輔
	高性能折り紙マスクの考案	公立千歳科学技術大学	皆勝 亮汰
	姿勢を正して健康に！	大阪経済大学	平田 尚士 泉 涼夏 高野 陽 細見 陸斗
	自動車乗員の快適性を向上する低振動シート	富山県立大学	李 喆 森崎 稜磨

備考 奨励賞は、発表順

<テクノ愛賞>

賞名	テーマ	学校名	氏名
テクノ愛賞	超音波野菜	青森県立名久井農業高等学校	大坊 拓也 掛端 博貴 佐々木昌虎 中居 泉穂 寺沢 ゆき 新田 遥加

健闘賞受賞テーマ等一覧表

<高校の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
健闘賞	LEDが点灯しながら回転！光る単極モータ その3	祐誠高等学校	辻 陽仁 西谷 永遠 古賀 大陽
	大豆でカンペキ！鉄分補給！	岡山県立玉島高等学校	福武 柁人 中村和海斗 田邊 優宜 井上今日花 藤原 広樹 杉井 良冴 塚村 咲太 安田 彩夏
	騒音で冷やす～熱音響現象を利用して～	愛媛県立松山南高等学校	田中 諒 村上 聖音
	米のとぎ汁+コンブチャ = バクテリアセルロース！	新潟県立新潟南高等学校	伊藤 裕太 笠原 直翔 北澤 蒼生 行田 哲也
	未来型自動車制御による「No！渋滞交差点システム」	追手門学院大手前高等学校	南方 博 伊賀 妃里
	高オレイン酸ヒマワリで青森県和牛ブランド化	青森県立三本木農業高等学校 青森県立三本木農業恵拓高等学校	本間 紳吾 金子 光 白岩 嵩翔 工藤 瑞歌 斗米 香乃 中野渡己紗 南雲 千凜
	Mg 二次電池の開発研究	福島県立福島高等学校	岡部 和 松本 大和 松田 汐良 飯塚 遥生 高野あかね 菅野 凌大 新保 隆太 川俣 倫
	脱げにくいサンダルの考察	愛知県立豊川工科高等学校	松下 快笙 齋藤 壮
	光のリングを用いた水面形状の可視化	兵庫県立加古川東高等学校	菅原 陽穂 本宮 侑 安田 吉伸 信江 南菜 平松 詠万
	イマナリエ	大阪府立今宮工科高等学校	河路 拓己 上野・阿野 川端・黒瀬 近藤・土井 長井・藤岡 陽・水野 三谷・山川
キシリトールを用いたレインコートの開発	福岡県立城南高等学校	江渕優一郎	

健闘賞	水ロケットによる水難救助	兵庫県立大学附属高等学校	浦上 雄喜
	小さな子供も安全！奥向きノズル	松江工業高等専門学校	多田納快斗
	はがして使えるまな板	兵庫県立宝塚北高等学校	藤原 哲史
	「OHA you バンド」 臨場感のある状況で快適な目覚め へ誘導するヘアバンド	大阪府立豊中高等学校	問山 翔悟 田中 優芽 藤浪 晴己
	暖房の使用を抑えた暖かいリビングづくり	宮城県立仙台第三高等学校	相澤玄之丞 小島 達 渡辺 彩乃 今 悠楽 小幡 真愛
	修正テープ式付箋	大阪府立茨木工科高等学校	佐藤 匠人

<大学の部>

賞名	テーマ	学校名	氏名
健闘賞	ブロックチェーン技術による傘忘れ問題の解決	湘南工科大学	氏原 陸大
	温度によって色が変わる魔法のカーテン	福井大学	浦野 紗英
	授業の記録を Raspberry Pi で自動作成する	津山工業高等専門学校	青木 優志 小野 光輝 屋内 律澄
	センサーに灯火を	大阪電気通信大学	吉田 伊織
	おつり de チャージ	武庫川女子大学	金本 彩花
	非認知能力養成アプリケーションの開発	玉川大学大学院	丸山真優子
	低空の城ラピュタ ～分散系 ER 流体を用いた新たな断震構造～	神戸市立工業高等専門学校	阪木 大貴 松山 瑠花
	FC HAT (Future Concentration Hybrid Ability Technology)	愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科	長谷川 昂 多賀谷充宏 浅野 樹生
	新しい食育の提案～リサイクルマウス編～	滋賀県立大学	湯川 綾

(5) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	開催方法	主な議題
2021年8月3日	書面会議	1 実行委員会委員長の選任について 2 テクノ愛2021最終審査の実施方法について 3 テクノ愛2021開催要領について

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	開催方法	主な議題
第1回 2021年9月11日 ～10月8日	書類審査	1 テクノ愛2021書類審査について
第2回 2021年11月23日	オンライン会議	1 テクノ愛2021最終審査について 2 テクノ愛2021健闘賞の選考について

4 科学館・技術館訪問研修

毎年、夏休み期間に中学生及び高校生を対象に、高い技術力を誇る企業等を訪問し、科学技術のすばらしさや研究開発の楽しさ、おもしろさを学び、体験する研修会を開催しているが、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため、開催を休止した。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験や工作イベントを通じて学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めることを目的に、8月13日（金）と12月25日（土）に「リニアモーターカーを走らせよう！」をテーマに、電磁力とフレミングの法則についての解説とリニアモーターカーの模型の作製をプログラムとする実験教室を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の流行等のため、開催を中止した。

6 科学技術情報等提供

ホームページ（HP）を活用し、当センターが実施する事業に関する情報を提供し、応募者や参加者の拡大を図った。また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテストの入賞アイデア等を掲載し、啓発に努めた。その他、当センターの沿革・概要、事業計画・事業報告、収支予算・決算状況等をHPに掲載した。

Ⅲ 収益事業

本法人が所有する建物・土地を事務室、研究（開発）室、倉庫、収納庫及び駐車場として賃貸するとともに、会議室を貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 施設の賃貸

（1）利用者増加の取組

貸室の空き情報を当センターのHPで広報するとともに、改修・整備等を行った。

- ・地階東ゾーンにおける研究開発室等の整備
- ・研究開発型法人の入居に伴う1階1号室、5号室及び9号室の改修等
- ・その他の貸室の照明、エアコン、電気設備等の改修等

（2）利用状況（ア～ウは、2022年3月31日現在）

ア 事務室・研究室・倉庫の利用者数	41団体	（2020年度	38団体）
イ 収納庫使用室数	15室	（同	17室）
ウ 駐車場使用台数	43台	（同	43台）
エ 会議室利用件数	40件	（同	51件）

2 建物・設備等の管理

（1）主な改修・修繕工事

ア 研究開発室等整備工事

研究開発室、事務室等の改修工事を実施した。特に地階東ゾーンについては、B17号室、B17-1号室及びB18号室が相次いで空室になったことから、長期ビジョンに基づく資産有効活用の取組の一環として、研究開発機能の強化を図るための改修を行った。

a 地階東ゾーン研究開発室等整備(第1次)工事

- ① 空室となったB17号室の内装、電気設備(電力量計・配線・コンセント)、照明、及びエアコン1台等を更新する工事並びにB17-1号室の内装、電気設備(分電盤・電力量計、配線、コンセント)及び照明を更新する工事を、1階9号室の電気設備工事等と併せて実施した。

(設備投資1,168,000円 大規模修繕費1,521,500円 合計2,689,500円)

- ② 研究開発型の企業がB17号室を研究開発室として賃借することになったこと等から、地階東ゾーンの電気容量を増強する工事を2021年11月に実施した。

(設備投資1,826,000円)

b 1階研究開発室整備工事

- ① 公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団の入居に伴い、1号室の床の張替、照明器具の取替、エアコン2台の更新等の工事を2021年5月～6月に実施した。

(設備投資836,600円 大規模修繕費585,200円 修繕費6,000円
合計1,427,800円)

- ② 研究開発型の企業の入居に伴い、5号室の床の張替、壁・扉の塗装、エアコン2台の更新等の工事を2021年10月～11月に実施した。

(設備投資740,000円 大規模修繕費871,500円 合計1,611,500円)

- ③ 研究開発型の企業の入居に伴い、9号室の内装の一部改修、電気設備(電力量計・配線・コンセント)の更新等の工事を実施した。

(費用は、B17号室改修工事の項に計上)

c エアコン更新工事

- 老朽化したエアコン(14号室2台、22号室1台、B5-3号室1台、B12号室1台)を更新する工事を2021年5月～12月に実施した。

(設備投資1,642,700円 大規模修繕費254,800円 合計1,897,500円)

d 照明器具更新工事

- 玄関ホール、22号室、B5-3号室、B27号室等の老朽化した照明器具をLEDに更新する工事を2021年5月～12月に実施した。

(設備投資245,300円 修繕費302,500円 合計547,800円)

イ 高圧受電設備更新工事

- 耐用年数が到来した高圧受電設備(高圧コンデンサ1個、高圧避雷器3個、高圧カットアウト6個)を更新する工事を2021年12月に実施した。(設備投資562,100円)

ウ 分館用給水管更新工事

- 漏水が発生した分館用給水管(1978年設置・野川通～有料駐車場北側通路)を更新する工事を2021年10月に実施した。(設備投資759,000円)

(2) 修繕工事

- | | |
|----------|--------------|
| ・土間床張替 | (29,700円) |
| ・エアコン修繕 | (85,800円) |
| ・消防用設備修繕 | (108,900円) |
| ・ドア修繕 | (3件、49,280円) |
| ・漏水防止 | (52,800円) |
| ・電力量計取替 | (41,800円) |

(3) 保守管理

トイレ・床清掃等の日常的な保守管理のほか、次の特別作業等を行った。

- ・ P C B 含有蛍光灯用安定器の処分(運搬費) (143,000 円)
- ・ 工作機械、書架等の処分 (199,100 円)
- ・ 大型ごみ等の廃棄処分 (385,000 円)
- ・ 室名札の更新 (152,350 円)
- ・ 汚水管の高圧洗浄 (52,800 円)

IV センターの運営

1 センターの概要 (2022年3月31日現在)

設立	1942年12月28日	財団法人京都技術科学館として設立
	1960年12月27日	財団法人近畿地方発明センターに改組
	2012年4月1日	公益財団法人京都技術科学センターに改組
評議員	12名	
役員	14名 (理事12名 監事2名)	
委員	研究助成選考委員会委員	6名
	テクノ愛実行委員会委員	8名
	同 選考委員会委員	13名
事務局	常務理事兼事務局長1名、	参事1名

2 理事会の開催状況

開催	議題	備考
2021年度 第1回定時理事会 2021年5月27日	I 決議事項 1 2020年度事業報告の承認の件 2 2020年度決算の承認の件 3 2021年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 業務実績について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について 3 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について	Web会議
2021年度 第2回定時理事会 2022年3月23日	I 決議事項 1 2022年度事業計画書の承認の件 2 2022年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件 3 2022年度研究開発助成対象者等の決定の件 II 報告事項 1 建物賃貸借契約者の異動状況について 2 2021年度事業の実施状況について 3 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告について	Web会議

3 評議員会の開催状況

開催	議題	備考
2021年度 定時評議員会 2021年6月15日	I 決議事項 1 評議員の選任の件 2 役員の選任の件 3 2020年度決算の承認の件 II 報告事項 1 2020年度事業報告について 2 業務実績について 3 建物賃貸借契約者の異動状況について	Web会議

4 監事監査

開催	内容	備考
2021年5月17日	2020年度事業報告及び決算の監査	

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する2021年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。